

P2 経営支援レポート  
元気印 ズームアップ

P4 知事を囲む商工会代表者会議  
ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業

P5 青年部・女性部だより

P6 Information 商工会だより

P8 掲示板

# ニュースクリップ News Clip

あ 商 ぎ 不 ない 工 ら す 人 び と ぶ ぐ し ま 商 ・ 工 ・ 人

2019.3.1  
Vol. 384



P2に掲載

キッチンカー導入による地域資源  
「川俣シャモ」の認知向上および、  
町を超えた情報発信

川俣町・株式会社 川俣町農業振興公社  
(川俣シャモ専門店 地鶏屋本舗)



P3に掲載

クラフトビールで地域に新しい文化を  
根付かせたい

南会津町・南会津マウンテンブルーイング/  
Taproom Beer Fridge ビアフリッジ



元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

会津  
南会津町商工会

クラフトビールで地域に新しい文化を根付かせたい



南会津マウンテンブルーイング / Taproom Beer Fridge ビアフリッジ  
代表 関根 健裕氏

住所 〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後町甲3983  
連絡先 TEL 090-2277-9069  
営業時間 18:00~22:00(LO 21:30)  
定休日 日曜、火曜

【創業のきっかけと店舗紹介】

名高い日本酒銘柄が数多く存在する会津地域のなかで4つの酒蔵がある南会津町。日本酒文化が浸透したこの地域でクラフトビールを提供する店がある。

「南会津でもクラフトビール文化を根付かせたい」と製材会社を経営する傍ら、代表の関根氏は2017年10月、ビールバー「Taproom Beer Fridge」を開店した。

アメリカを旅した時、小さなクラフトビール醸造所が各地にあり、そこを多くの観光客が訪れていた。根っからのビール好きであったこととクラフトビールが地域振興を牽引している光景に感銘を受け、地元でもこの文化を根付かせたいと思ったのが



創業のきっかけである。

店舗では、国内外のクラフトビールを提供している。2018年2月 発泡酒製造免許取得後は、店舗に併設する醸造所(南会津マウンテンブルーイング)で自ら仕込みを行い、出来立てのクラフトビール(発泡酒に分類)を提供している。

【商工会の支援内容】

創業時においては、町の創業支援制度を活用、改装費用や什器備品購入など開店に至るまでの支援を行った。その後、オリジナルクラフトビールの小売り、土産品としての提供に向け「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の申請を支援した。店頭での提供以外に、既存設備では対応できなかった瓶詰商品の生産に向けた設備を導入、地元産の果実を使用するなどオリジナルクラフトビールの瓶詰商品化に取組んだ。本事業に取組んだことで品質維持と生産性の向上に繋がる成果を得ることができ、今後の販路開拓に期待が持てる結果となった。



【今後の展開】

南会津町は、面積の91%を森林が占め、林業は、町の基幹産業の一つである。町森林認証材製品の東京オリンピック・パラリンピックでの活用をはじめ県内外での活用推進にも積極的に取り組んでいる。製材会社を営んでいることから林業の振興による地域振興も目指すところである。

森林認証材となっている南会津町産材を副原料とした商品づくりのほか、新たなサービス提供による事業を計画している。それらを経営革新計画として、今後のクラフトビール文化の醸成と更なる販路拡大を図っていく考えである。

【事業者の声】

醸造した出来立てのクラフトビールは、併設する飲食店で提供できるので、お客様とのコミュニケーションが自然と生まれ、お客様からも様々な意見が寄せられます。

それらのご意見も今後の商品づくりに反映し、南会津町産を強く意識した醸造所を目指していきます。是非ご賞味ください。



県北  
川俣町商工会

キッチンカー導入による地域資源「川俣シャモ」の認知向上および、町を超えた情報発信



株式会社 川俣町農業振興公社  
(川俣シャモ専門店 地鶏屋本舗)  
代表取締役 笠間 英夫氏

住所 〒960-1402 福島県伊達郡川俣町小綱木字泡吹地8  
連絡先 TEL (024) 566-5860 FAX (024) 566-5083  
営業時間 9:00~17:00  
定休日 土曜日・日曜日・祝日・指定日・年末年始・GW・お盆期間  
U R L <http://www.kawamata-shamo.com/>

【事業所紹介】



川俣町の特産品であり、福島県の「ブランド認証産品」として認定を受けている『川俣シャモ』は、地元飲食店はもとより、県内外のホテル・レストラン等の料理店から肉質の良さ・鶏肉本来の味で、現在、高い評価を得ております。当社は、昭和62年7月の設立以来、唯一の加工・販売会社として、飼育農家が育てあげた川俣シャモを全量買上げ、飲食店・肉卸店を中心に生肉(冷凍肉)の販売と、肉のスライスカット・挽肉などの2次加工品の販売をしております。また、社内工場で、シャモ燻製品やレトルト食品、丸焼き加工などの食肉製品を製造し近隣道の駅や、県内外の百貨店等に販売も行っております。

【商工会の支援内容】

原発事故に伴う「風評被害」により生産羽数、販売数の落ち込み、回復してこない売上減少がきっかけでした。平成29年2月、以前から構想にあったキッチンカーを具体化するため、当社、専門家、商工会復興経営指導員が三位一体となり、事業計画を練り上げ、「福島県原子力災害被災事業者事業再開等支援補助金(第3次公募)」申請にこぎつけ、無事採択となりました。今般の事業計画作成を通じて、2つの大きなメリットを感じております。まず、「事業戦略」の修正を図れたことです。「食材」としてのシャモ肉は料理関係者に知っていただいているものの、一般消費者の認知度が必ずしも高くなかったという課題に対し、情報発信と同時に一目で分かるラッピングを施したキッチンカーでの営業が可能となり、現在では、平日、地元道の駅「川俣シルクピア」にて販売、週末には福島県内各地や、県外での各種イベントへの出店などで、シャモのおいしさと食の安全性をPRする効果は大きいものとなりました。また、キッチンカー導入により、個々の目標意識の変革が進んだことです。当社の従業員において、参加イベントの選定やメニュー開発を進めていく中で、個々に考え、目標を設定し、主体的に取り組む体制が構築できました。現在、人員体制の確立で1年間50回の出店を目指しており、将来に向かって営業を軌道に乗せ、地元からの雇用創出を図るとともに、将来の2台目キッチンカー導入を目標としております。



【今後に向けて:商工会より】

地域内外に商品知名度を高めて事業者の収益向上を進めていくとともに、川俣シャモの付加価値の向上を目指していきたいと思っています。事業計画策定と補助金申請支援を経験させていただきましたが、今後も、計画の進捗管理や他の補助金申請を見据えて応援していきたいと考えております。

【来て、見て、味わって!!】

川俣シャモを堪能できる「シャモまつり」を2つご紹介します。例年、4月末の2日間、福島市四季の里で「川俣シャモまつりin四季の里」を、8月末の2日間、地元川俣町で「川俣シャモまつりin川俣」を開催しております。開催日近くなりましたら、詳細を当社ホームページで紹介しております。イベントで味わう川俣シャモも絶品ですので、ぜひご来場お待ちしております。



## 青年部 だより

### 「今こそ事業承継のはなしを。」

「全国事業承継推進会議キックオフイベント」が平成30年10月29日に東京で行われました。のべ3,000人が参加したこのイベントでは、国と我々商工団体青年部による事業承継に向けた決意表明の他、基調講演やパネルディスカッションも行われ、多くの方が“気づき”を得る良い機会となりました。

今後より多くの方々に参加してもらい、事業承継へ向けた行動のきっかけとしていただくため、全国9カ所で地方会議が開催されます。このひとつとして東北ブロック会議（平成31年3月15日／秋田市）が予定されておりますので、これを機会に自分の事業所にはどんな準備が必要なのかを考えてみてはいかがでしょうか。

事業承継とは会社の事業を円満に後継者に引き継ぐことです。ですが、ひと言に事業承継といっても承継する内容や方法は様々であり、それぞれの事業所に合わせた準備・対策が必要です。

いま国も力を入れて支援策を用意しております。後継者が十分に経営力を発揮できるように、“いつか”ではなく“今”こそ事業承継のはなしをしませんか？



全国事業承継推進会議キックオフイベント

## 女性部 だより

### 商店街活性化事業

#### ～空き店舗対策をみんなで考えよう～

幹事：飯坂町商工会女性部／東北地区（11単会）

大型店舗の出店や事業主の高齢化などにより閉店する店舗が増え、商店街の空き店舗が全国的に深刻な問題となっている中、空き店舗の問題は商店街や地域全体の問題ではあるが、まずは女性ならではの視点で解決の糸口を探し、商店街の活力を取り戻し商店街活性化へつなげられるように先進事例を学び、女性部として取り組む足掛かりになるような事業を行いました。事業内容は下記の通り



七日町商店街振興組合：下田氏



全体報告会

#### 1.各市町村の事前調査

東北地区各女性部で各市町村の事前調査を行い、空き店舗情報や町の概要・特色などの確認を行いました。

#### 2.視察研修・セミナーの開催

山形県七日町商店街振興組合の事務局長：下田氏を講師にむかえ、七日町の事業概要を元にどのように七日町商店街では空き店舗対策を行ったのか講義を受けた後、七日町商店街の空き店舗からリノベーションを行った事業所を訪問し、昔ながらの面影が新たな事業へのアクセントとなってより魅力的になった店舗を視察しました。

#### 3.全体報告会の開催

本事業を通して空き店舗についての考え方・認識が変わった、女性部として地域活性化に繋がるコンテンツづくりへの意識が高まったとの意見があり、同じ東北地区でありながら知らなかったそれぞれの地域で行っているイベントや商店街の状況について知ることができました。

今回の復興支援事業を行ったことにより、地元の商店街の状況や東北地区それぞれの魅力の再確認することができ、商店街の地域活性化に繋がる空き店舗対策への道が開けたと考えております。

中小企業・小規模事業者の支援体制強化等について要望

## 知事を囲む商工会代表者会議

平成三十年度知事を囲む商工会代表者会議が、十月二十八日、福島市ウエディング エルティで開催された。代表者会議では県内商工会長等約九十名が参加し、中小企業・小規模事業者への支援強化などを求める要望書を巒田県連会長が内堀知事に手渡した。



要望書手交 巒田会長から内堀県知事へ

- 一、東日本大震災・原発事故の影響に対する県内事業者への支援の充実強化
- 二、中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた支援の強化
- 三、地域経済活性化のための商工会機能の充実強化

巒田県連会長が挨拶で、「商工会が一丸となって地域経済の再生と小規模事業者等の持続的な発展を支援するために各種事業を積極的に推進したい」と述べた。続いて、本年の県連会長表彰等が執り行われ、川島忠 田村町商工会長より謝辞をいただいた。引き続き、商工会代表者による意見表明が行われ、佐藤美副会長、高橋健副会長、澤田一夫副会長がそれぞれ力強く意見表明し、要望書の手交が行われ、巒田県連会長が内堀知事に手渡した。

このあと、福島県の復興へ向けた取組と題し、内堀知事の講話が行われた。



受賞者代表謝辞 川島忠田村町商工会長より

## ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業

新規事業創設により県内小規模企業者等の事業の持続的な発展を支援します！

### 概要

本事業は、小規模企業者等が経営の支援団体による伴走型の支援を活用しながら行う、持続的な経営に向けた取り組みに対し、「専門家の派遣」や「経費の一部を補助」するものです。本事業の対象は、「円滑な事業承継」、「創業から3年以内の企業者の経営の安定化」、「販路開拓」、「生産性向上」、「地域コミュニティの向上」、「商店街の活性化」に係る取り組みです。

### 補助対象者

本社及び補助事業を行う事業所が共に福島県内に所在する小規模企業者等（単独または複数の小規模企業者）  
 ・商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律第2条で定める小規模企業者。  
 ・中小企業団体の組織に関する法律で定められる中小企業団体、商店街振興組合法で定める商店街振興組合及び連合会、生活衛生関係営業の運営の適正化法及び振興に関する法律に定める生活衛生同業組合及び連合会。

この内容は、平成31年2月現在となります。詳しくは次号の会報にてお知らせいたします。

# 震災・原発事故からの再興をめざして



浪江町に戻り業務を開始した商工会

浪江町に戻り業務を開始した商工会  
 業者も増えてきました。  
 十月には、「地域復興  
 マッチング結の場」  
 標葉地区」が開催され、  
 地元企業八社、支援企業  
 二十六社の参加により、  
 ワークショップで出た課  
 題の支援提案プロジェクト  
 卜実施へと進んでいます。  
 その他、県水素工

浪江町商工会  
 長の新谷保基で  
 す。浪江町は福  
 島県浜通り中部  
 に位置し、請戸港から阿武隈山地  
 にわたる東西に長い町です。  
 復旧工事が進む請戸港、請戸川  
 リバーラインの桜並木、高瀬川溪谷  
 の紅葉、大堀相馬焼、なみえ焼そ  
 など、豊かな自然や特産品がある  
 町です。平成二十二年三月の震災・  
 原発事故により甚大な被害を受け  
 ましたが、再興に向けて町、商工会  
 一丸となり取り組んでいるところ  
 です。



浪江町商工会  
長の新谷保基

**浪江町商工会及び会員の現状**  
 浪江町商工会は、平成二十年六  
 月二日に商工会機能を二本松市か  
 ら浪江町に全面的に移し、会員支  
 援の充実に努めております。  
 平成二十九年三月二十一日に帰  
 還困難区域を除く地域の避難指  
 示が解除されましたが、平成三十  
 年十一月現在町内居住者は八七三  
 人、人口の五％に止まっております。  
 当商工会員の事業再開率は  
 五十一・八％ですが、町内再開率は  
 九・四％です。その中で、福島県原  
 子力被災事業者事業再開等支援補助  
 金や中小企業等グループ施設等復  
 旧整備補助金等の復興支  
 援施策の活用、再開を検  
 討されている事業者から  
 の相談対応等支援するこ  
 とで、徐々に再開される事



仮設商業施設「ミッセなみえ」

**仮設商業施設への参加**  
 「ミッセなみえ」は公設民営で浪  
 江町が設置した仮設商業施設「ま  
 ちなみマルシェ」内にあります。浪  
 江町の一部避難指示解除の方針を  
 受け、平成二十九年十月に設置さ  
 れました。伝統工芸「大堀相馬焼」  
 「なみえ焼きそば」など商工会加  
 盟約二十事業所の商品を取り扱っ  
 ており、会員事業所事業再開の  
 きっかけにすべく開店しました。小  
 売業には厳しい商環境ですが努力  
 を続けております。



復興なみえ町十日市祭

**地域振興事業について**  
 平成三十年七月には、標葉郷野  
 馬追祭の出陣、凱旋式典が浪江町  
 において八年ぶりに行われまし  
 た。騎馬五十六騎からなる威風  
 堂々の町内行列、神旗争奪戦を町  
 民の皆様披露しました。また十  
 月には「復興なみえ町十日市祭」が  
 浪江町地域スポーツセンターを会  
 場に開催され、全国から二日間  
 三七、〇〇〇人余りの人出があり  
 ました。浪江町の伝統芸能や小  
 学生のステージ復活した大堀相馬  
 焼「なみえ」と祭り「なみえ」など皆様に喜んで  
 いただきました。  
 今後も事業再建を目指す会員ま  
 た町内に帰還する会員への支援体  
 制を継続し、商工会組織基盤の強化  
 に努めてまいります。

# 町民のシンボル「お城山」を冠したまつりで町おこし



三春町商工会  
長の長谷川  
ております増子  
博保です。

三春町といえば、真っ先に「滝桜」  
 を思い浮かべる方が多いのではない  
 でしょうか。それくらい滝桜は有名  
 で、スーパースターといつていい存在  
 です。ただ最近では、滝桜が偉大過ぎ  
 て、このスター観覧に満足し、なか  
 なか町中までお客さんが来てくだ  
 さいません。しかも桜の季節は短期  
 間です。そこで三春町商工会では、  
 昔から町民のシンボリック存在である  
 「お城山」を中心に新しい「まつり」  
 を企画しようということになり、四  
 年前に「お城山まつり」と名付けた  
 「まつり」が誕生しました。三年間  
 はその名のとおりに、お城山の頂上  
 のイベントをメインとする短期間  
 のまつり  
 でした。  
 二〇一八  
 年度は、  
 街中にも  
 う少し賑  
 わいを  
 というこ  
 とで、「お城



伝統盆踊りの頭上に輝くLED一夜城

山まつり」と冠して、長期間に渡り  
 様々なイベントを開催することに  
 しました。八月二日から「LED照  
 明の一夜城」を設置し、十五、十六日  
 に行われる三春町の伝統的な盆踊  
 りの日まで点灯し、多くの皆さんに  
 楽しんでいただきました。また、こ  
 の期間に「三春グルメめぐり」と名付  
 けた割安チケット販売による、飲食  
 店めぐりも実施しております。九月  
 には、三春の神社仏閣とお菓子屋  
 さん等をめぐるスタンプラリーを  
 楽しみながら、お城山に登っていた  
 だけ、豪華賞品や焼き肉セットが当  
 たる抽選会を開催しました。焼肉  
 セットが当たった家族には、予め準  
 備した使い捨てコンロで焼肉パー  
 テーをしていただき、家族の団樂  
 を演出することができました。十一  
 月の「三春秋まつり」の時には、愛姫  
 生誕四五〇年にちなんで「愛姫輿入  
 行列」を行いました。主役の愛姫は、  
 田村青年会議所のメンバーが企画  
 してくれた「愛姫コンテスト」の優  
 勝者です。コンテストは、十二歳で伊  
 達政宗に嫁いだ愛姫にちなみ、三春  
 町内の女子中学生を対象に、もし今  
 の歳でお嫁に行くとしたらという  
 設定で、大切な人に感謝の気持ち  
 を伝える作文を書いてもらうとい

うもので  
 す。最終  
 審査は、  
 作文で書  
 かれた中学  
 生に、盆  
 踊り開始  
 前、浴衣  
 姿で観客の前で自ら発表してもら  
 うというイベントを行い、多くの観  
 客が感涙にむせびました。そして  
 今年度のト리는、二月六、十七日の  
 「全国あげものサミット」です。こ  
 れは商工会のメンバーで立ち上げ、  
 三春のB級グルメに育った「三春グ  
 ルメンチ」をはじめ、全国で話題と  
 なっている美味しい「あげもの」が  
 三春に集結します。この時、町外か  
 ら来てくださるお客さんに、商店を  
 知ってもらいた  
 め、商業部会と  
 三春スタンプ会  
 がタイアップし  
 たイベントも  
 実施します。  
 そのほかに  
 も三春町商工  
 会は、中町支  
 部の「軽トラ市」



愛姫輿入行列



あげものサミットPRポスター

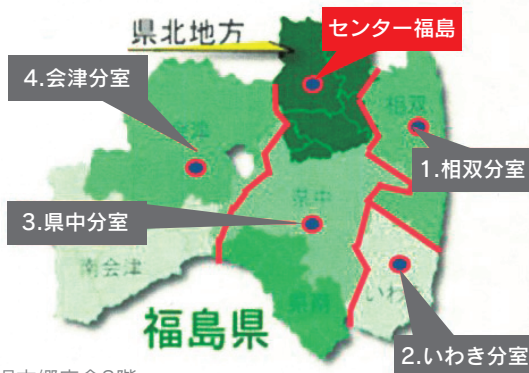
や荒町支部の「商業祭」等、各支部  
 単位でも、様々な地域振興事業を  
 行っております。  
 また、IT化時代に合わせ、「三  
 春町商工会のホームページ」のリ  
 ニューアルに着手しました。お客  
 さまに発信するだけでなく、商工  
 会会員の経営改善に役立つホーム  
 ページを目指しております。  
 今、次年度さらにはその先の三  
 春の商工業の活性化を見据えて、  
 企画委員会を発足させ、新たな経  
 営改善普及事業や地域総合振興事  
 業の策定を計画しております。その  
 ために、会員の皆さんにアンケート  
 を実施し、その結果を商工会の事  
 業策定に反映させてゆく所存です。  
 三春町商工業の発展のため、労  
 を厭わず尽力してまいります。

# 4分室(福島県ワンストップ相談支援事業)の統合について

独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部は、福島県内に相双、いわき、県中、会津の4つの分室を平成26年10月より開設してまいりました。

平成31年3月1日より、中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島の窓口統合することと致しました。

1. 中小機構東北センター福島・相双分室【南相馬市】  
〒979-2124 福島県南相馬市小高区本町1-44  
小高商工会内
2. 中小機構東北センター福島・いわき分室【いわき市】  
〒970-8026 福島県いわき市平堂根町4-17 いわき中央ビル5F  
福島県商工会連合会 浜通り広域指導センター内
3. 中小機構東北センター福島・県中分室【須賀川市】  
〒962-0028 福島県須賀川市茶畑町46-105  
福島県商工会連合会 中通り広域指導センター内
4. 中小機構東北センター福島・会津分室【会津美里町】  
〒969-6195 福島県大沼郡会津美里町字北川原41 会津美里町役場本郷庁舎3階  
福島県商工会連合会 会津広域指導センター内



今後のご相談・お問い合わせは、最寄りの商工会、中小機構センター福島あてまでお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

**独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部**  
**中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島**  
 センター福島：〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号 コラッセ福島7F  
 TEL.024-529-5113 メール.fukkyu-f@smrj.go.jp



## 消費税の軽減税率対応のためのレジ・システム補助金【第3版】

# 消費税の軽減税率制度開始とレジ補助金期限である 2019年10月が迫ってきました!!

レジや受発注システムを導入・改修する方への国の補助制度があります。  
 お問い合わせはこちらの番号\*まで **0120-398-111** (通話料無料)

\*独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置する軽減税率対策補助金事務局になります。

**複数税率**

標準税率10%

軽減税率8%

**POSレジ**

**モバイルPOSレジ**

**メカレジ**

補助金の詳細はURLをご覧ください。 <http://kzt-hojo.jp/>

QRコードはこちら